

第5・6学年 外国語科学習指導案

木頭小学校 5・6年 4名

指導者 T1 中山 愛梨

T2 倉田 唯

1 単元名 Lesson 2 We have Children's Day in May. 聞いて！見て！こんな行事があるよ！
(CROWN Jr. 6)

2 単元の目標

- ・日本の伝統行事や地域や学校の行事を表す言い方や、開催される時期や何ができるか魅力を伝える表現を理解し、話すことができる。【知・技】
- ・おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事をよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について気持ちや考えを含めて話すことができる。【思・判・表】
- ・おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事をよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について、考えや気持ちを含めて話そうとする。【態度】

3 児童の実態

本校の児童は非常に素直で純朴であり、様々な活動を熱心に行うことができる。少人数であることから学年・校種を超えての行事や活動もあり、上級生が下級生の手本となり、リーダーシップを発揮している場面も多い。しかし、少人数でお互いのことを知っているがために言わなくてもわかっているような雰囲気を感じる時もある。

本学級の児童は外国語の授業に対して積極的であり、楽しんで学習に取り組んでいる。4月に外国語の学習についてのアンケートをとった結果、全員が外国語の学習に必要性を感じていると答えており、その理由を聞くと「将来使えるから」「外国の人と関わる時に必要だから」などの理由があった。しかし、「外国語を書けるようになりたいか」の質問に対して書けるようになりたいという児童は少なく、日常生活での必要性を感じていないようだった。また、中学校で始まる英語の学習に対しては消極的な意見が多く、内容が難しくなりそうで不安だと感じていた。そこで、小学校での外国語の学習を通して少しでも英語で話すことや自分の気持ちを伝えることに自信をもってほしいと感じた。さらに、中学校では書くことが増えるので、アルファベットを書いたり、語句や表現を書き写したりする学習を通して、中学校の書くことの学習へとスムーズに移行できるようにしたいと考えた。こうしたことから、児童が自分の思いを積極的に話したり書いたりしたいと思えるような授業作りをしたいと考えている。本校の少人数で小中一貫校の特徴を生かし、上級生や下級生に英語で自分の考えや気持ち、調べたことを伝えられるような活動を行うことで、英語を使うことへの抵抗を減らし、積極性を育てたいと考える。

4 単元について

本単元の前半では、日本の伝統行事や地域や学校の行事を表す言い方や行われる時期について伝える表現を学んでいく。その後、その行事でできることなど魅力を伝える表現についても学習する。第5時となる本時では、自分が伝えたい日本の伝統行事や学校行事について友達や先生と話す。単元全体を通して日本の伝統行事や学校行事について時期や内容などの言い方を身に付け、We have～in～. We can～. It is～.などの表現を使って話す。そうした活動を通して、単元終末では自分が紹介したい日本の伝統行事や地域や学校のおすすめの行事について自分の考えや気持ちも含めて発表する。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<p>〈知識〉 日本の伝統行事や地域や学校の行事について We have～in～.We can～.It is～.などの表現を理解している。</p> <p>〈技能〉 日本の伝統行事や地域や学校の行事について We have～in～.We can～.It is～.などの表現を用いて、考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	<p>おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事をよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p>	<p>おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事をよく知ってもらい、参加したと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</p>

5 単元計画

時	目標 (◆) と主な活動 (○)	評価		
		知技	思判表	態度
				<p>◎評価規準 (方法)</p> <p>※指導・学習改善のための評価</p>
1	<p>◆日本の伝統行事を表す言い方やいつあるかを伝える語句や表現に気づき、理解することができる。</p> <p>○ポインティング・ゲーム</p> <p>○【Spotlight】 P.28</p> <p>○Sound Chant</p> <p>○行事がいつあるか尋ねたり答えたりする。</p> <p>○【Panorama】 P.26・27</p>			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。</p>
2	<p>◆日本や学校の行事がいつあるかを伝える語句や表現を知り、理解することができる。</p> <p>○【Panorama】 P.26・27</p> <p>○行事クイズ</p> <p>○【Spotlight】 P.30</p>			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。</p>
3	<p>◆自分たちの町にどんな施設があるか、そこでどんなことができるかについて話すことができる。</p> <p>○【Spotlight】 P.32</p> <p>○ポインティング・ゲーム</p> <p>○自分達の町にある施設でどんなことができるか伝え合う。</p> <p>○【Enjoy Listening】 P.33</p>	発		<p>◎日本の伝統行事や地域や学校のおすすめの行事について We have～in～.We can～.It is～.などの表現を用いて話している。 (行動観察・振り返りシート点検)</p>
4	<p>◆日本の伝統行事や地域や学校の行事について、その様子などを話すことができる。</p> <p>○【Talk to friends】 P.32・33</p> <p>○自分が伝えたい行事を書く。</p> <p>○行事の様子を話す。</p> <p>○自分が伝えたい行事について、その魅力などについて友達や先生と話す。</p> <p>○【Panorama】 P.26・27</p>	発		<p>◎日本の伝統行事や地域や学校の行事について We have～in～.We can～.It is～.などの表現を用いて話している。 (行動観察・振り返りシート点検)</p>

5 (本時)	<p>◆おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事についてよく知ってもらい、参加したいと思ってもらうために、開催される時期やその魅力について、自分の考えや気持ちを含めて話すことができる。</p> <p>○自分が伝えたい行事について詳しく説明するために、友達や先生と話す。</p> <p>○自分が伝えたい行事についてまとめる。</p> <p>○発表の練習をする。</p>	発	発	<p>◎おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事について、We have～in～.We can～.It is～.などの表現を用いて、自分の考えや気持ちを含めて話している。 (行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト)</p> <p>◎おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事についてよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について、自分の考えや気持ちを含めて話している。 (行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト)</p>
6	<p>◆おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事について、よく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。</p> <p>○発表の練習をする。</p> <p>○発表する。</p>	発	発	<p>◎おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事についてよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について、自分の考えや気持ちを含めて話している。 (行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト)</p> <p>◎おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事についてよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。 (行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト)</p>

本単元で扱う主な表現

We have～in～.We can～.It is～. 月, 季節, 行事, 施設, 自然, 形容詞

6 本時の学習

(1)目標

おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事についてよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。

(2)展開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 △教材・教具 ◎評価規準(評価方法)
		HRT	JTE	
3分	・挨拶をする。	・個別に挨拶する。		・英語で挨拶し、楽しい授業の雰囲気を作る。
8分	・Small talk をする。	・活動のモデルを示す。 ・児童の活動をリードしたり、活動の様子を記録したりする。		・復習を通して、既習の表現を想起させ、活用できるようにする。 ・反応を返したり質問をしたりして、会話が継続するように促す。 △タブレット(デジタル教科書)
	・指導者のクイズに答えることを通して、本時のめあてをつかむ。	・本時のめあてを確認する。		△タブレット

参加してみたいと思ってもらえるように、おすすめの行事について紹介しよう。

5分	・おすすめの行事について、ペアで紹介する練習をする。	・個別に助言や支援を行う。	・活動を通して、既習の表現を想起させる。
3分	・JTEの行事の紹介を聞く。	・児童と一緒にJTEの紹介を聞く。	・児童におすすめの行事を紹介する。
10分	・よりよい紹介になるように発表の仕方を改善し、練習する。	・相手を意識した紹介の仕方について活動の例を示す。 ・個別に助言や支援を行う。	・指導者の会話から、相手を意識した紹介にするためには、工夫が必要であることを知らせる。
8分	・全体の前で紹介する。 ・改善したことを発表する。	・全体の前で紹介することを告げ、児童の発表を聞く。 ・自分や友達の変容や成長に気づくことができるように、助言や指導をする。	◎おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事について We have～in～.We can～.It is～.などの表現を用いて、自分の考えや気持ちを含めて話している。 (行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト) ◎おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事についてよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催される時期やその魅力について、自分の考えや気持ちを含めて話している。 (行動観察・振り返りシート点検・後日パフォーマンステスト)
5分	・本時の振り返りをする。	・振り返りの観点を示す。	・児童の活動の良かった点を伝えることで、今後の活動への意欲が高まるようにする。
3分	・挨拶をする。	・次時の活動を知らせ、全体に挨拶をする。	

(3)評価及び指導の例

「話すこと [発表]」の「知識・技能」

本時における「満足できる」と判断される状況	日本の伝統行事や地域や学校の行事について We have～in～.We can～.It is～.などの表現を正しく用いて話している。
本時における「おおむね満足できる」と判断される状況	言いよどんだり、表現等に一部間違いが見られるものの、おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事について、開催時期やその魅力について、自分の考えや気持ちを含めて話している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための指導	既習語句や表現を用いて、まず指導者が話した後、児童に尋ねるなどして語句や表現を十分に聞かせたり使ったりする機会を設け、学習改善につなげる。

「話すこと [発表]」の「思考・判断・表現」

本時における「満足できる」と判断される状況	おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事についてよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるように、開催時期やその魅力について、表現を加えたり相手に尋ねたり話題を広げたりしながら自分の考えや気持ちを含めて話している。
本時における「おおむね満足できる」と判断される状況	おすすめの日本の伝統行事や地域や学校の行事についてよく知ってもらい、参加したいと思ってもらえるようにという意識はやや弱いが、開催時期やその魅力について、自分の考えや気持ちを含めて話している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための指導	ペアで紹介している場面で適切な指導や支援を行うとともに、友達の発表を見る機会を設け、自己調整や学習改善につなげる。